



中村和也
（つなぐ未来）



知多半島総合医療センター
への交通アクセスについて

問
直行タクシーの運行が診療開始時刻より遅いため、前倒しの必要性について見解を伺います。

事業者側で車両や乗務員の確保が難しく、現時点での前倒しは困難です。事業者には体制が整えば見直しを検討する意向があるため引き続き働きかけていきます。

問
直行タクシーの利用は、自宅と医療センターの往復に限られています。薬局への立寄り等、柔軟な運用の必要性について見解を伺います。

薬局への立寄りは理想的ですが、運転手や事業者の判断では、制度の運用に支障が生じる恐れが

あるため、制度の変更はできません。

問
直行タクシーは片道1千円で通院できますが、介助が必要な要介護高齢者などは対象外であり、同額ではない実態について見解を伺います。

法令上、対象や目的が異なり統一した対応はできませんが、福祉介護タクシーの利用状況を調査し、今後の支援のあり方を検討する必要がありますと考えています。

外国籍児童生徒の不就学問題と今後の対応について

問
小中学校に在籍していない外国籍児童生徒への対応について見解を伺います。

在籍不明の児童生徒は15名おり、日本の子ども同様に教育を受けられるよう、引き続き努めていきます。



芳金秀展
（創造みらい半田）



女性のデジタル人材育成

問
半田版デジタル女子育成に向けて、リカレント教育を充実させ、市の課題である女性活躍と企業の人材獲得を改善できる事業として進めるべきだと思いますがどうですか。

日本福祉大学との連携によるオンデマンド講座の提供や、デジタル分野における女性のキャリア形成のきっかけづくりとなるような講座の開催も検討していきます。

また、ココロリンクを始め、商工会議所、地域事業者、市民団体、ハローワークなどと連携し、現実として就労につながるにくい女性の声やニーズを把握したうえで、就労につながる事業の拡充に取り組んでいきます。



職員にも選ばれるまち

問
職員の採用・育成・定着などの取組みを検証して、予算配分の増加や外部人材の活用も踏まえて歩踏み出してほしいがどうですか。

現状、取組んでいる事業をしっかりと進めながら、検証したうえで、他市町の成功事例も調査研究し、外部人材の活用や予算要求もしていきます。また、半田市の人材育成基本方針については、総務省から出された「人材育成確保基本方針策定指針」を参考に改定していきます。



伊藤正興
（チャレンジはんだ）



市役所の開庁時間の見直し

問
勤務時間内での政策課題や業務改善の検討時間の確保の状況はいかがですか。

他の自治体と同様に住民ニーズは多様化し、広範な地域課題に対応していくことは難しくなってきたと認識しています。業務の効率化を促進し組織としての生産性向上をはかるうえで開庁時間の見直しは有効な選択肢になると捉えています。

問
今後、開庁時間を見直す時期はいつ頃を予定していますか。

年度内には試行的に実施したいと考えています。議論を進める中で多少遅れることはあるかもしれませんが必ず実施していきます。

中学生の広島県への派遣等の平和推進事業

問
中学生の広島県への派遣の目的は何ですか。

半田市には昭和33年の「原水爆実験禁止、並びに核兵器持ち込み反対核非武装宣言」の決議など先駆的な取組みを積み上げてきた歴史があります。こうした取組みを土台にしつつ、市民や子どもたちの平和に係わる意識を高めることで

問
広島県に派遣された中学生の報告をタブレットで行うことを提案しますがいかがですか。

今後、どのような方法で報告を行うことが良いのか、タブレットの活用も含め考えていきます。

